【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【公表番号】特表2002-543918(P2002-543918A)
【公表日】平成14年12月24日(2002.12.24)
【出願番号】特願2000-617817(P2000-617817)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｃ　 7/00
　Ａ６１Ｃ　19/04
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｃ　 7/00　　Ｚ
　Ａ６１Ｃ　19/04　　Ｋ
　Ａ６１Ｃ　19/04　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成15年6月3日(2003.6.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
患者の歯の歯列矯正画像を表示する方法であって、
該患者の歯に関連する３次元（３Ｄ）データを取り込む工程と、
該患者の歯に対する視点を決定する工程と、
該視点に基づいて、位置変換を該３Ｄデータに適用する工程と、
該位置変換に基づいて、該患者の歯のグラフィック表示を描画する工程と、
各歯についての処置経路を決定する工程と；
該歯のグラフィック表示を更新して、該処置経路に沿う該歯の位置の視覚的表示を提供する工程と；
を包含する、方法。
【請求項２】
前記患者の歯の右側の口腔のオーバージェット画像を生成する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記患者の歯の前側のオーバージェット画像を生成する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記患者の歯の左側の口腔のオーバージェット画像を生成する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記患者の歯の左側の遠位の臼歯の画像を生成する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記患者の歯の左側の舌側の画像を生成する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記患者の歯の舌側の門歯の画像を生成する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方

法。
【請求項８】
前記患者の歯の右側の舌側の画像を生成する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記患者の歯の右側の遠位の臼歯の画像を生成する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項１０】
選択されたデータセットに対応する位置で、前記歯の３Ｄグラフィック表示を描画する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項１１】
選択されたデータセットに詳細レベルの圧縮を適用して、前記歯のグラフィック表示を描画する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項１２】
人間のユーザから命令を受信して、前記歯のグラフィック表示を修正する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項１３】
前記ユーザからの命令に応答して、前記選択されたデータセットを修正する工程をさらに包含する、請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
グラフィカルインターフェースを提供する工程であって、該グラフィカルインターフェースは、動画を制御するように人間のユーザが操作し得る、ビデオカセットレコーダーのコントロールボタンを表す要素を有する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項１５】
前記選択されたデータセットの中のデータの一部のみを用いて、前記歯のグラフィック表示を描画する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項１６】
人間のユーザが前記グラフィック表示において歯を選択することを可能にし、該選択に応答して、該歯についての情報を表示する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項１７】
前記情報は、前記処置経路に沿って動く間に前記歯が経験する動きに関連する、請求項１６に記載の方法。
【請求項１８】
前記グラフィック表示を描画する工程が、複数の歯列矯正観察特有の観察角度のうちの選択された１つの観察角度で前記歯を描画する工程を包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項１９】
人間のユーザによって制御される３Ｄジャイロスコープ入力デバイスから入力信号を受信し、該入力信号を用いて、前記グラフィック表示において前記歯の方向を変更する工程をさらに包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項２０】
患者の歯の歯列矯正画像の表示において用いられるコンピュータプログラムを含む有形の格納媒体であって、該プログラムは、コンピュータに
該患者の歯に関連する３次元（３Ｄ）データを取り込ませ、
該患者の歯に対する視点を決定させ、
該視点に基づいて位置変換を該３Ｄデータに適用させ、
該位置変換に基づいて、該患者の歯のグラフィック表示を描画させ、
各歯についての処置経路を決定させ、そして
該歯のグラフィック表示を更新して、該処置経路に沿う該歯の位置の視覚的表示を提供させる、
実行可能命令を含む、格納媒体。

【請求項２１】
前記患者の歯の右側の口腔のオーバージェット画像を生成させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項２２】
前記患者の歯の前側のオーバージェット画像を生成させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項２３】
前記患者の歯の左側の口腔のオーバージェット画像を生成させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項２４】
前記患者の歯の左側の遠位の臼歯の画像を生成させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項２５】
前記患者の歯の左側の舌側の画像を生成する工程を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項２６】
前記患者の歯の舌側の門歯の画像を生成する工程を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項２７】
前記患者の歯の右側の舌側の画像を生成させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項２８】
前記患者の歯の右側の遠位の臼歯の画像を生成させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項２９】
選択されたデータセットに対応する位置で、前記歯の３Ｄグラフィック表示を描画させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項３０】
選択されたデータセットに詳細レベルの圧縮を適用させて、前記歯のグラフィック表示を描画させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項３１】
人間のユーザから命令を受信させて前記歯のグラフィック表示を修正させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項３２】
前記ユーザからの命令に応答させて選択されたデータセットを修正させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項３１に記載の格納媒体。
【請求項３３】
グラフィカルインターフェースを提供させる命令を、前記プログラムがさらに含み、該グラフィカルインターフェースは、動画を制御するように人間のユーザが操作し得る、ビデオカセットレコーダーのコントロールボタンを表す要素を有する、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項３４】
選択されたデータセットの中のデータの一部のみを用いて、前記歯のグラフィック表示を描画させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項３５】
人間のユーザが前記グラフィック表示において歯を選択することを可能にさせ、該選択に応答して、該歯についての情報を表示させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項３６】
前記情報は、前記処置経路に沿って動く間に前記歯が経験する動きに関連する、請求項３

５に記載の格納媒体。
【請求項３７】
前記グラフィック表示を描画させる命令が、複数の歯列矯正観察特有の観察角度のうちの選択された１つの観察角度で前記歯を描画させる命令を含む、請求項２０に記載の格納媒体。
【請求項３８】
人間のユーザによって制御される３Ｄジャイロスコープ入力デバイスから入力信号を受信させ、該入力信号を用いて、前記グラフィック表示において前記歯の方向を変更させる命令を、前記プログラムがさらに含む、請求項２０に記載の格納媒体。